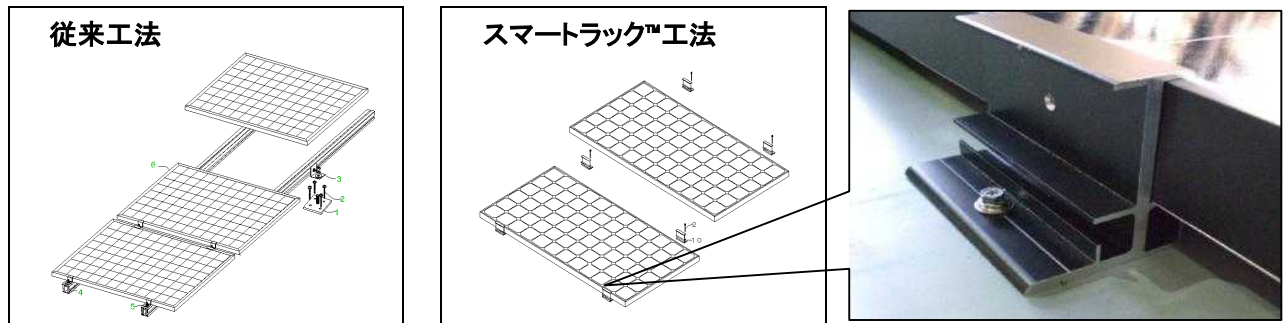


施工の簡素化と費用の削減で太陽光発電の普及に貢献

高島開発の『スマートラック™工法』で施工工数を大幅に削減 —高島株式会社—

高島株式会社(社長:高島幸一、本社:東京都中央区、以下「高島」)は、太陽光発電モジュールを新築住宅により簡単に設置できる、『スマートラック™工法』を開発し、2009年5月より受注を開始する。専用取付金具でモジュールを固定するこの工法(国際特許出願中)では、架台を設置する必要がなく、従来工法に比べ施工工数を大幅に削減できる。太陽光発電普及の課題である費用削減に施工の面から取り組み、地球温暖化対策に有効とされる再生可能エネルギーの利用拡大に貢献する。



『スマートラック™工法』開発の背景

新築住宅への太陽光発電システムの普及が進まない現状

政府は、地球温暖化対策として、太陽光発電システムの導入を2020年に現在の10倍、2030年に現在の40倍にする目標を掲げている。これは、2020年に新築住宅の70%に太陽光発電システムが導入されている状態に相当する。しかし、現状新築住宅への太陽光発電導入率はわずか3%程度にすぎない。住宅用太陽光発電の導入費用は依然高く、その負担を減らすために、国の補助金制度が2009年1月から再開された。地方自治体も、国の補助と併用できる制度を設け、導入費用の削減を後押ししている。太陽光発電システムを普及させるには、国・地方自治体の補助金制度の継続や、太陽光発電モジュールなどの機器のコストダウンはもちろんのこと、設置工事費用の削減にも取り組まねばならない。

『スマートラック™工法』の概要

架台の必要がない工法で施工工数を大幅に削減

新築住宅に太陽光発電システムを設置する場合、ほとんどが既築住宅への設置同様、瓦などの既存屋根材の上に架台を設置し、その上にモジュールを載せる方法をとっている。この従来工法では、設置工事の工程が多く複雑なため専門知識が必要で、現状以上の費用削減が容易ではない。

そこで高島は、防水処理・防火処理をした屋根に、専用取付金具を使用し、モジュールを直接固定する『スマートラック™工法』(国際特許出願中)を開発した。より簡単により少ない部材で取り付けが可能になり、施工工数を大幅に減らすことができる。これにより設置工事費用を抑え、太陽光発電の普及促進に貢献する。

【本件に関する問合せ先】

本記事に関して(報道関係の方) : 高島株式会社 経営企画 新藤・加藤 (電話:03-3567-0213)

商品に関して(営業関係の方) : 高島株式会社 開発本部 龍美 (電話:03-3567-1626)

◆スマートラック™ホームページ : <http://www.tak.co.jp/smartrack/>

◆高島株式会社

本社所在地	東京都中央区銀座 1-15-11
代表者	取締役社長 高島 幸一
資本金	3,801 百万円(東証一部上場)
主な事業内容	建設・物流・産業資材等専門商社
売上高	80,075 百万円(2008 年 3 月期:連結)

◆施工の様子
